



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東
コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩田 真一 TEL 03-6758-4738
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	2,006	0.6	176	59.1	170	49.8	100	36.8
2025年9月期第1四半期	1,994	△3.0	111	△61.0	113	△60.2	73	△58.3

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 100百万円 (36.8%) 2025年9月期第1四半期 73百万円 (△58.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	24.93	24.91
2025年9月期第1四半期	18.22	18.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	3,039	858	22.6
2025年9月期	3,108	752	18.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 685百万円 2025年9月期 585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	8.0	300	△14.2	285	△17.4	185	△52.1	45.98

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社 (社名) 株式会社Men' s B. P. 株式会社BuzzInnovation

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期1Q	4,037,100株	2025年9月期	4,037,100株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	13,508株	2025年9月期	13,506株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期1Q	4,023,593株	2025年9月期1Q	4,023,595株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等により、穏やかな改善傾向にあります。一方で、米国の通商政策の動向、日中関係の不安定化等、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開を行う2024年の国内インターネット広告市場は、動画広告を中心に成長し、前年比9.6%増の3兆6,517億円（注1）と推計され、総広告費に占める構成比は47.6%に達しました。また、2024年の国内ソーシャルメディアマーケティング市場は、前年比12.8%増の1兆2,038億円、2029年には2兆1,313億円（注2）まで成長すると推計されております。

このような環境の中、当社グループでは「コミュニケーションを価値に変え、世の中を変える。」をミッションとし、「SMM（ソーシャルメディアマーケティング）事業」、「ライブ配信プラットフォーム事業」、「HR（ヒューマンリソース）事業」を展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,006百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益176百万円（前年同期比59.1%増）、経常利益170百万円（前年同期比49.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①SMM事業

SMM事業では企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援しており、主に「インフルエンサーサービス」、「SNSアカウント運用」、「SNS広告」、「インターネット広告販売」を行っております。

「インフルエンサーサービス」では、「NINARY」及び「Ripre」を中心に、当社グループ独自のインフルエンサーネットワークを活用したプロモーション施策の企画提案を行っております。

「SNSアカウント運用」では、企業・ブランドのSNS公式アカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行っております。

「SNS広告」では、ソーシャルメディアプラットフォームの運用広告、ソーシャルメディアのプラットフォーム連動の独自メディアを活用した「tobuy」などのプロモーション施策の企画提案を行っております。

「インターネット広告販売」では、ソーシャルメディア関連広告を中心とした、他社の広告商品の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力のインフルエンサーサービスが好調に推移し、売上高は1,857百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は375百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

②ライブ配信プラットフォーム事業

ライブ配信プラットフォーム事業では連結子会社である株式会社WithLIVEにおいて、有名アーティスト・タレント等とオンラインで1対1の対話ができるサービス等を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、BtoB関連の受注が堅調に推移したほか、BtoC向けサービスが大きく伸長し、売上高は121百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は19百万円（前年同期比109.5%増）となりました。

③その他

その他では「HR事業」「アフィリエイト事業」「CVC事業」を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、事業全体としては概ね横這いで推移したものの、売上高は28百万円（前年同期比5.3%減）、営業損失は1百万円（前年同期は10百万円の営業利益）となりました。

（注1）出典：株式会社電通「2024年 日本の広告費」

（注2）出典：サイバー・バズ／デジタルインファクト調べ「2024年 国内ソーシャルメディアマーケティングの市場動向調査」

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が214百万円増加したものの、現金及び預金が287百万円減少したことによるものであります。固定資産は601百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主にのれんが15百万円、顧客関連資産が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が113百万円減少したものの、未払金が30百万円、契約負債が24百万円、未払法人税等が15百万円、未払消費税等が41百万円増加したことによるものであります。固定負債は439百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が112百万円増加したものの、社債が300百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は858百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が100百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.6%（前連結会計年度末は18.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年11月12日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,276,957	989,624
受取手形及び売掛金	1,029,557	1,244,467
仕掛品	1,162	—
貯蔵品	665	690
その他	174,961	202,515
流動資産合計	2,483,304	2,437,296
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	54,845	54,845
減価償却累計額	△7,844	△8,763
建物附属設備（純額）	47,000	46,081
工具、器具及び備品	149,831	158,726
減価償却累計額	△51,111	△58,161
工具、器具及び備品（純額）	98,719	100,564
有形固定資産合計	145,719	146,645
無形固定資産		
のれん	123,015	107,638
ソフトウェア	5,155	3,872
顧客関連資産	36,447	31,891
その他	31,458	27,526
無形固定資産合計	196,076	170,928
投資その他の資産		
投資有価証券	23,496	23,496
繰延税金資産	62,843	63,243
敷金及び保証金	175,411	176,028
その他	21,364	21,364
投資その他の資産合計	283,116	284,132
固定資産合計	624,912	601,707
資産合計	3,108,217	3,039,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	840,793	843,317
短期借入金	500,000	386,592
1年内返済予定の長期借入金	108,000	108,000
契約負債	59,368	84,120
未払金	60,652	91,209
未払法人税等	23,695	39,543
未払消費税等	13,183	54,240
ポイント引当金	6,160	6,020
その他	116,257	128,737
流動負債合計	1,728,110	1,741,781
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	308,000	420,426
繰延税金負債	19,626	18,704
固定負債合計	627,626	439,130
負債合計	2,355,736	2,180,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,621	484,621
資本剰余金	484,621	484,621
利益剰余金	△353,122	△252,827
自己株式	△32,740	△32,742
株主資本合計	583,378	683,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,801	1,801
その他の包括利益累計額合計	1,801	1,801
新株予約権	167,300	172,618
純資産合計	752,480	858,091
負債純資産合計	3,108,217	3,039,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,994,963	2,006,614
売上原価	1,247,713	1,226,766
売上総利益	747,249	779,847
販売費及び一般管理費	636,044	602,928
営業利益	111,204	176,919
営業外収益		
ポイント収入額	987	140
助成金収入	330	360
役員報酬返納額	5,239	—
雑収入	34	50
営業外収益合計	6,591	550
営業外費用		
支払利息	3,781	5,724
社債利息	—	1,504
雑損失	509	196
営業外費用合計	4,291	7,425
経常利益	113,505	170,045
特別利益		
新株予約権戻入益	5,237	—
特別利益合計	5,237	—
特別損失		
社債繰上償還精算金	—	38,194
特別損失合計	—	38,194
税金等調整前四半期純利益	118,743	131,850
法人税、住民税及び事業税	33,624	32,876
法人税等調整額	11,817	△1,321
法人税等合計	45,442	31,555
四半期純利益	73,300	100,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,300	100,294

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	73,300	100,294
四半期包括利益	73,300	100,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,300	100,294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,856,220	108,800	1,965,021	29,941	1,994,963	—	1,994,963
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	300	300	—	300	△300	—
計	1,856,220	109,100	1,965,321	29,941	1,995,263	△300	1,994,963
セグメント利益	361,912	9,478	371,391	10,814	382,205	△271,000	111,204

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△271,000千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,857,151	121,108	1,978,259	28,354	2,006,614	—	2,006,614
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,857,151	121,108	1,978,259	28,354	2,006,614	—	2,006,614
セグメント利益又は 損失(△)	375,548	19,858	395,407	△1,675	393,731	△216,811	176,919

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業、アフィリエイト事業、CVC事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△216,811千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	21,679千円	17,740千円
のれん償却額	15,376	15,376

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2026年1月15日開催の取締役会において、以下のとおり、譲渡制限付株式報酬としての新株式発行（以下「本新株発行」といいます。）を行うことについて決議し、2026年2月13日に払込が完了する予定です。

1. 発行の概要

(1) 払込期日	2026年2月13日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 49,320株
(3) 発行価額	1株につき811円
(4) 発行総額	39,998,520円
(5) 割当予定先	取締役4名 49,320株 ※ 社外取締役及び監査等委員である取締役を除きます。

2. 発行の目的及び理由

当社は、2025年11月12日開催の取締役会において、株主利益に対する意識をさらに向上し、当社の株価上昇や中長期的な企業価値向上を図るインセンティブを与えることを目的として、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除きます。以下同じです。）を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議いたしました。

また、2025年12月18日開催の第20回定時株主総会において、①本制度に基づき、取締役に対して譲渡制限付株式の付与のための報酬を支給することとし、その譲渡制限期間は、1年を下回らない範囲において当社の取締役会が予め定める期間とすること、②譲渡制限付株式の付与は、取締役に対して支給された金銭報酬債権の全部の現物出資と引換えに当社の普通株式の発行又は処分を行う方法にて行うこと、③本制度により発行又は処分される当社の普通株式の総数は年間15万株以内とし、その金額は既存の金銭報酬枠とは別枠で年額1.5億円以内とすること等につき、承認可決されております。